



Banksy Work Mocks UK Parliament

英議員がチンパンジーに! バンクシー、EU離脱を風刺



英議会の混迷を見事に描き、多くの共感を呼んだ

これだけは覚えておきたい!!

loom large

[lú:m lá:dʒ]

〈危険などが〉大きく
迫る

not-so-subtle

[nát sóu sÁtəl]

あからさまな、
見え透いた

anonymous

[ənónəməs]

正体不明の、匿名の

depict A as B

[dípikt]

AをBとして描写する、
表現する

draw a parallel to

[pré:əlé]

〜との類似点を指摘
する

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 ▶ 英文を見ずに、CNNの生英語 (3) を聴いてみよう。

Check!

Practice 2 ▶ 英文を見ながら音声を聴いてみよう。
必要ならゆっくりスピード (ポーズなし (4) / ポーズ入り (5)) も活用してみてください。

Practice 3 ▶ 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ ▶ 余力のある方は、別冊付録の問題集にチャレンジしてみてください。

Banksy Work Mocks UK Parliament

While Brexit looms large, England's Bristol Museum is showcasing a not-so-subtle commentary on UK lawmakers. The work is **titled** *Devolved Parliament*. It is from the anonymous street artist Banksy, and it depicts politicians in the House of Commons as chimpanzees. First shown in 2009, it is Banksy's largest work on canvas, according to the museum. Visitors didn't have to reach far to draw parallels to modern-day politics.

▶▶67 words (March 30, 2019)

英議員がチンパンジーに! バンクシー、EU離脱を風刺

ブレグジット（イギリスのEU離脱）がいよいよ間近に迫る中、英国のブリストル美術館は英議員たちに対するあからさまな批評（となる作品）を展示している。作品のタイトルは『退化した議会』だ。これは正体不明のストリートアーティストのバンクシーによる作品で、下院の政治家たちをチンパンジーに見立てて描いている。最初に2009年に発表されたこの作品は、同美術館によると、バンクシーがキャンバスに描いた作品としては最大のものである。来館者たちは（作品を）現代の（イギリスの）政治と関連付けるのに苦労はしなかった。（訳 石黒円理）

リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せませんが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

「母音 + [t] + 「オー」のように聞こえる [ɪ]」という連鎖において、
[t] の音は、しばしば日本語のラ行の子音のように聞こえる。

2行目の **subtle** ▶▶ [サロー]

2行目の **titled** ▶▶ [タイロード]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

アメリカ英語では、better、city、waterのように、一つの語の中に「母音 + [t] + 弱い母音」という連鎖がある場合、[t] の音は、しばしば日本語のラ行の子音のように聞こえますが、この現象は、「母音 + [t] + 「オー」のように聞こえる [ɪ]」という連鎖でも生じます。その結果、ラ行の子音のように聞こえる [t] の音と「オー」のように聞こえる [ɪ] の音がつながって、「ロー」に近い響きになります。例えば、bottle、capital、hospital、little、Seattleなどの最後にある [ɪ] の

音は、日本語の「オー」のように聞こえますので、bottleが [バーロー] のように、capitalが [キャーパロー] のように、hospitalが [ハースペロー] のように、littleが [リロー] のように、Seattleが [スィーアーロー] のように聞こえます。また、同様の現象は、語の最後だけでなく中程でも起こることがあり、Italyが [イロリー] のように、satelliteが [サーロライト] のように聞こえます。

解説 南條健助 (桃山学院大学国際教養学部准教授)